

神戸大学医学部附属病院  
循環器内科ならびに関連病院  
内科専門研修プログラム

平成30年度  
後期研修医募集のお知らせ

神戸大学医学部附属病院  
循環器内科・関連病院

- ◇ 神戸大学医学部附属病院もしくは当循環器内科関連病院を基幹病院とする内科専門医研修プログラムに登録して、「内科専門医」資格を取得し、その後「循環器専門医」資格取得を目指す後期研修医を募集します

神戸大学病院・関連病院を含めた連携施設群の中で、指導医の適切な指導の下、3年間（もしくは4年間）のバランスの良い充実した内科研修と循環器内科専門トレーニングを行い、内科・循環器内科医師として標準的かつ全人的な診療ができる知識と技能を修得することを目指します。

プログラム最終年および終了後は、神戸大学大学院に進学して研究・診療・教育に従事したり、関連病院にて循環器専門医を目指したりと、希望に応じてさらなる研鑽を積むことができます。

- ◇ 以下のような目的や希望をお持ちの方は是非ご応募ください

- ・ バランスの良い内科研修を受け、循環器内科を専門にしながらも General physician になりたい人。
- ・ 循環器専門医を目指し、将来は大学院に進学して臨床研究や基礎研究に従事し、留学したい人。
- ・ 循環器専門医となり、さらに心血管インターベンション治療認定医・不整脈専門医・超音波専門医などの取得を目指したい人。
- ・ 内科専門医・循環器専門医として、関連病院で後輩医師の指導をしながら地域医療に貢献したい人。
- ・ 循環器専門医を取得し、教育や厚生労働行政などの方面から社会に貢献したい人。
- ・ 臨床医を基盤にして、科学者としての素養を持ち、基礎研究を中心に力を注ぎ、世界で活躍したい人。
- ・ 循環器領域で、誰も考えていない新しいことにチャレンジし、イノベーションを起こしたい人。

## ◇ 神戸大学医学部附属病院 循環器内科の目指すところ

### GIO（一般目標; General Instructional Objectives）

将来は循環器専門医を目指すが、内科医・家庭医・救急対応医としてのあらゆる臨床的問題に適切に対応できる知識・技術・態度を身につける。

内科・循環器内科臨床研修の中で、人間としても成長し、高い人間性・社会性・協調性を涵養するとともに、生涯取り組むことのできるキャリア基盤を確立する。

### SBO（行動目標; Specific Behavioral Objectives）

1. 高い倫理観を持ち、患者やその家族の考えを尊重し配慮しながら、プロフェッショナリズムに基づく患者中心の医療を展開できる。
2. 内科疾患の標準的・先進的医療の知識を持ち、循環器内科医としての基本手技を身につけ、安全かつ最新の標準的医療を提供できる。救急医療・災害時医療の知識を持ち実践できる。
3. 病院で共に働くスタッフやコメディカルと協力し、チーム医療の中でリーダーとしての役割を担いながら、円滑な医療サービスが提供できる。
4. 指導医・先輩医師から学び、後輩の研修医・医学生に対しては指導を行うことも学びの機会とし、人間性豊かな医療人として成長できる。
5. 科学的思考を身につけ、リサーチマインドを習得し、現状での内科・循環器内科診療の問題点を見出し、解決しようとする努力を継続して行える。

## ◇ ご挨拶

内科医を目指す初期研修医の皆さん。そして、循環器内科医を目指す皆さん。

神戸大学医学部附属病院 循環器内科は、皆さんがバランスの良い充実した内科研修を行い、さらに専門性の高い循環器内科研修を早期から経験できるようにサポートします。



当科は、関連病院との密な連携のもとに、初期研修はもちろん、後期研修に関しても、各研修医の希望に応じて、研修病院の選択や研修内容について調整をしてきました。この度の新しい内科専門医制度が導入されても、内容や方針に大きな変化はありません。

内科研修・循環器内科研修は、良い指導医の下で、真摯に学び、自ら考え、“医師”として、“社会人”として、“人間”として成長することが重要です。当院もしくは関連病院の内科専門医プログラムでは、数多くの医師を育成してきた経験豊かな指導医や新進気鋭の若手内科・循環器内科指導医が教育指導にあたります。安心して研修に取り組むことができ、医師として大きく成長できることは間違いありません。

内科専門医資格取得の後は、循環器専門医資格の取得、大学院への進学、希望に応じて将来の留学まで、できる限りご希望に応じ、皆さんの夢や目標が達成できるようにサポートします。

未来の内科・循環器内科診療をさらに発展させ、患者さんへのグローバルな貢献を目指す、若い力を募集します。

私たちと一緒にチャレンジしていきましょう。

平成 29 年 5 月

神戸大学医学部附属病院 循環器内科

教授

平田 健一

## ◇ 要項

### 募集人員

神戸大学医学部附属病院内科研修プログラム 募集人員 若干名  
関連病院内科研修プログラム 各病院の募集人員の規定に準ずる

### 選考方法

各病院の内科専門医プログラムの選考方法に準ずる

### 応募期間

各病院の内科専門医プログラムの募集に準ずる

### 研修内容・研修場所

神戸大学医学部附属病院ならびに関連病院の内科研修プログラムに準ずる  
その中で、各人に応じて循環器内科のトレーニングをどこで、どの程度行うかを相談の上で決定します。

研修場所は、神戸大学医学部附属病院ならびに関連病院が中心ですが、それぞれの病院が連携する病院でも研修が可能です。

3年間の中で、原則最低1年はプログラム登録した病院以外での研修が必要になります。

### 研修期間

各病院の内科専門医プログラムに準ずる。3年間を原則にしていますが、それ以上になっても問題ありません。大学院への進学や、留学など個人の目標を達成するために柔軟に対応いたします。

### 後期研修医期間中の収入・身分

大学病院勤務中は、医員としての給与が支給されます。不足の場合には、追加で適切な範囲での病院当直などの外勤をしていただく予定です。

関連病院勤務中は、その病院の給与規定に準じての対応になります。

各関連病院の定員や研修内容については、循環器内科医局にお問い合わせください。仲介も可能です。

## プログラムへの登録について

神戸大学医学部附属病院ないし関連病院の専門医プログラムに直接ご応募頂いて結構です。

しかし、病院の選択においては迷われることも多いと思います。その場合は当院医局までご連絡ください。ご希望に応じて、どの病院の内科専門医プログラムに応募・登録することが各人の目標達成に近いのかについて、アドバイスさせていただきます。

各関連病院の内科専門医プログラムへの応募に関しては、各病院のホームページを参照いただくか直接電話での問い合わせをお願いします。

当院、循環器内科医局にご連絡いただければ（冊子末尾参照）、各関連病院に連絡、仲介もさせていただきます。逆に、各関連病院の指導医に仲介いただいて、大学に連絡いただいても結構です。

## ◇ 本募集の対象となる病院群

以下の病院で研修希望の方で、将来は循環器内科医を目指したい方が対象です

（※太字は、独自に基幹病院としての内科専門医プログラムを持つ病院です）

### 兵庫県

#### 神戸大学医学部附属病院

神戸赤十字病院      神鋼記念病院      神戸労災病院

三菱神戸病院      神戸百年記念病院      六甲病院

六甲アイランド甲南病院      甲南病院

神戸市立医療センター西市民病院      済生会兵庫県病院

国立病院機構神戸医療センター      明石医療センター

神戸市立西神戸医療センター      県立淡路医療センター

三田市民病院      宝塚市立病院      市立芦屋病院  
県立柏原病院      公立豊岡病院      公立豊岡病院組合病院群  
加古川中央市民病院      県立加古川医療センター  
北播磨総合医療センター      市立加西病院      公立神崎総合病院  
製鉄記念広畑病院      姫路循環器病センター      赤穂市民病院

## 大阪府

済生会中津病院      淀川キリスト教病院  
愛仁会千船病院      愛仁会高槻病院

特別連携施設などに勤務する、地域医療を担う若手医師で、内科専門医・循環器専門医の取得を目指す方も、連絡をいただけましたらご相談に応じます。

### ◇ 研修内容について

指導医の指導・監督のもとに、内科・循環器内科の研修を行います。

大学病院での研修は、それまでの研修内容や各自の習得した技術や知識に応じて、また内科診療科のどの科を研修するかにより、多様性を持った内容になります。

### 循環器内科 後期研修医として取得すべき技術の目標

- ・ 循環器疾患の基本診察技術を習得し、検査と治療のプランを自身で計画できる。
- ・ 循環器関連薬剤の作用機序を理解し、エビデンスに基づく基本的な薬剤の選択ができる。
- ・ 内科・循環器内科の緊急対応の判断ができる。
- ・ 心臓エコー図検査、心筋シンチグラフィ検査、診断カテーテル検査などを、施行し、判読できる。

- ・ 冠動脈造影検査、心臓電気生理学検査、冠動脈 CT、その他の循環器内科の基本検査の判読ができ、患者さんに説明ができる。
- ・ ペースメーカーや ICD 埋め込み患者の初期対応、心臓関連の補助循環装置の基本的な原理を理解し、基本的な管理ができる。
- ・ 最先端の循環器診療に携わり、内容を理解して、指導医とともに適応を判断できる。
- ・ 学会での症例発表や症例報告論文の執筆を経験する。
- ・ 循環器疾患に関して、初期研修医や学生を適切に指導し、教育ができる。

当科や関連病院の診療実績については、ホームページなどを参照ください

<http://www.med.kobe-u.ac.jp/im1/index.html>

## 大学病院中心臨床内科専門研修コース

神戸大学病院または関連病院の内科専門医プログラムに登録

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 年 目	内科希望科 ローテーション			循環器内科 研修			大学病院での研修期間は相談にて決定 連携施設関連病院					
	感染対策講習会 循環器内科研修医勉強会			医療安全講習 JEMECC			医療倫理研修会 CPC			医療安全講習 地域参加型カンファレンス		
2 年 目	循環器専門研修 (内科研修と同時に実施可能) 連携施設関連病院											
	医療安全講習 学会発表 大学病院カンファレンスへの参加 循環器内科研修医勉強会						← 外来実習 → CPC 内科学セミナー 医療安全講習 病歴要約提出					
3 年 目	連携施設関連病院						別の連携施設関連病院での研修					
	← 外来実習 → 学会発表 症例報告論文作成 循環器内科研修医勉強会						大学院進学の場合には 入学試験 内科学セミナー(研修医症例報告会) 医療安全講習 医療倫理研修会					

4年目に内科専門医試験を受験する 大学院に入学して、研究を開始する(大学院在学中に専門医試験を受験)  
初期研修と後期研修2年間でバランスの良い研修ができた場合に、最速で3年目からの大学院入学も可能  
そのまま4年目も内科・循環器内科研修の継続も可能

## 関連病院中心内科専門研修コース

関連病院の内科専門医プログラムに登録

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 年 目	連携施設関連病院						循環器専門研修 (内科研修と同時に実施可能)					
	感染対策講習会 循環器内科研修医勉強会			医療安全講習 JEMECC			医療倫理研修会 CPC			医療安全講習 地域参加型カンファレンス		
2 年 目	連携施設関連病院											
	JEMECC 医療安全講習 学会発表 大学病院カンファレンスへの参加 循環器内科研修医勉強会						← 外来実習 → CPC 内科学セミナー 医療安全講習 病歴要約提出					
3 年 目	連携施設関連病院						大学病院での内科研修			専門科研修		
	← 外来実習 → 学会発表 症例報告論文作成 循環器内科研修医勉強会						別の連携施設関連病院・地域医療経験など			大学院進学の場合には 入学試験 内科学セミナー(研修医症例報告会) 医療安全講習 医療倫理研修会		

4年目に内科専門医試験を受験する 大学院に入学して、研究を開始する(大学院在学中に専門医試験を受験)  
そのまま4年目も内科・循環器内科研修の継続も可能

研修の3年間を具体例で提示しています。希望に応じて柔軟に対応しますので  
ご相談ください。

## ◇ 大学病院・関連病院の指導医からのメッセージ

神戸大学医学部附属病院 循環器内科 病棟医長 田中秀和

循環器内科では、他病院では手におえないような重症な患者や、診断に苦慮するような複雑な病態・疾患など、日々多くの興味深い症例と向き合っています。

“神戸大学循環器内科で診ることができなければ後がない”という気持ちで、全医局員が患者から逃げない医療を心掛けています。さらに、循環器内科医である前に内科医であることも忘れず、専門バカにならず、幅広い視野で患者を診療することも重要視しています。循環器内科では、チーム制で入院患者の診療に当たっており、各専門医が研修医の指導にあたります。研修医教育にも力をいれており、学会発表、論文作成のサポートを積極的に行い、短期間でできるだけ多くのことが学べるように、プログラムを組んでおります。

循環器内科に来て損はさせません。皆さんと一緒に働けることを楽しみにしております。

病棟指導医 森 俊平（平成 28 年度神戸大学病院ベストティーチャー※）

大切なものは、思いやりとか情熱とか、責任感とか覚悟の類、目には見えず言葉で伝えきれぬものを感じてほしいと思います。その姿勢で臨む循環器臨床は、深く、感動に満ちています。それも共有できたらと思います。

（※ベストティーチャーは、毎年研修医の投票により神戸大学病院全体で3~4人が選ばれる指導医として名誉ある賞です。循環器内科は4年連続でこの賞をいただき、その指導力が評価されています。私たちはこれからも良い診療と教育を提供し、人々に貢献します。）

指導医/外来医長 山下智也（平成 25 年度神戸大学病院ベストティーチャー）

もし進路に迷ったら、困難な方を選択してください。『楽』をすると、人生は『楽』しくなくなっていくます。難しい方が、楽ではないけれど、楽しいことは多いと思います。そういう選択をする人を大歓迎いたします。

姫路循環器病センター 循環器内科指導医 高谷具史

（平成 26・27 年度神戸大学病院ベストティーチャー 2 年連続受賞）

循環器内科は複数の疾患を持つ患者がとりあえず入院するところでもあります。心臓を診ている以上、病気の好き嫌いを言って逃げられず、やりがいに満ちた診療科と言えます。まずは身近な誰かから話を聞いてみて下さい。当科を選ぶヒトに悪いヒトはいません。

加古川中央市民病院 院長補佐・循環器内科指導医 清水宏紀

加古川中央市民病院の循環器内科では、充実したスタッフをそろえ最新の医療機器を導入し日本でトップレベルの治療を行っています。急性冠症候群、急性心不全の患者が数多く搬送され循環器救急の症例が豊富です。立派な循環器専門医になれるようスタッフ全員が指導医として研修医の指導に当たります。

北播磨総合医療センター 先端医療センター長・循環器内科指導医 吉田明弘

北播磨総合医療センターの研修の最大の特徴は、毎週全ての内科診療科が参加して初期研修医の症例発表を通じた common disease の教育を行い、内科全体としての研修医教育を構築している点です。循環器内科では後期研修医が、インターベンション治療およびデバイス治療など最初に携わるにあたり、知っておくべき点に重点をおいた専門医による教育に力を注いでいます。

社会医療法人愛仁会高槻病院 院長・循環器内科指導医 高岡秀幸

高槻病院にはどの診療科にも優れた指導医が多数在籍しており、ハイレベルのトレーニングは、厳しいけれど楽しいものです。循環器内科はスタッフ 6 人、不整脈内科はスタッフ 3 人、後期研修医は 5 人とみんなで明るく頑張っています。日本心血管インターベンション治療学会研修施設ですのでインターベンション認定医の取得にも有利です。

大阪府済生会中津病院 副院長・循環器内科指導医 志手淳也

大阪府済生会中津病院は、ほぼすべての内科の研修が可能な都市型総合病院です。循環器内科の症例数は大阪トップクラスであり、救急からカテーテル専門治療まで最先端の技術が習得できます。

赤穂市民病院 院長・循環器内科指導医 藤井 隆

赤穂市民病院は、西播磨二次医療圏の循環器内科・心臓血管外科救急を担う三次救急施設です。研修医 1 人あたりの症例が非常に豊富で、実践的で、手技の上達も早いです。各科の垣根は低く、コンサルトしやすい環境でありながら医療水準は大規模病院の水準を目指し、院内のカンファレンス、勉強会も盛んです。一緒に楽しく循環器診療をしましょう。

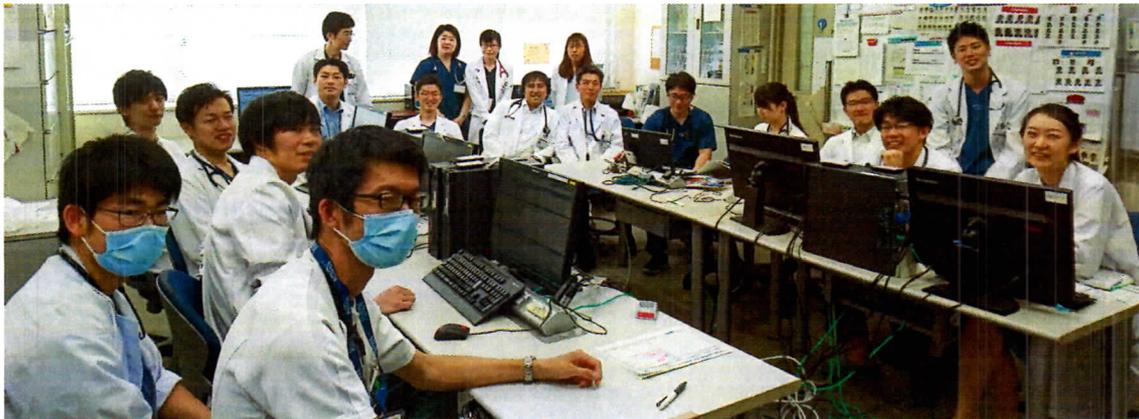
神戸労災病院 副院長・循環器内科部長・指導医 井上信孝

神戸労災病院では、個々の症例に起っていることを丁寧に科学的に考察しながら、ひとり一人の患者さんに真剣に向き合うことが、医師に必要な心 (Humanity: 豊かな人間性)、技 (Art: 臨床技能)、知 (Physician Scientist: 科学的思考能力)

の体得に重要であると認識し、研修医指導にあたっています。循環器内科では、プライマリケアから観血的治療、心リハまで一貫的な研修を目指しています。労災には全てがある！ きたれ若者!!

神戸赤十字病院 循環器内科部長・指導医 土井智文

神戸赤十字病院循環器内科の診療モットーは“患者さん本位の医療”です。スタッフと後期研修医がマンツーマンでタッグを組み、外来診療からの診断学、治療および入院での診療を行います。また併設する兵庫県災害医療センターでの重症救急心疾患も、循環器内科医としての若い時期に是非経験してください。そして未だ解明されていないclinical questionを一緒に究明しましょう。



お問い合わせ・見学希望の方へ：ご連絡をお待ちしております。

神戸大学医学部附属病院 循環器内科 山下 智也、新家 俊郎

住所 〒650-0017 兵庫県神戸市中央区楠町 7-5-2 循環器内科

TEL : 078-382-5846 (医局秘書が対応します) FAX : 078-382-5859

e-mail : junnai@med.kobe-u.ac.jp (医局代表)

以下の連絡先への、直接メールでの相談や見学依頼も歓迎いたします。

准教授 山下 智也 (やました ともや) tomoya@med.kobe-u.ac.jp

准教授・医局長 新家 俊郎 (しんけ としろう) shinke@med.kobe-u.ac.jp

講師・病棟医長 田中 秀和 (たなか ひでかず) tanakah@med.kobe-u.ac.jp